



2019 ピレリスーパー耐久シリーズ 第1戦 SUZUKA “春の陣”

3月の合同テストを経ていよいよ開幕となった。

今期の当チームは計4台の参戦となり
各車準備に追われながら開幕戦に挑みました。

スポンサー様はもちろん色々な方々にご協力をいただきながらの参戦になりますが、結果に繋がるよう
全力で戦っていきたいと思いますので
引き続きご声援のほど宜しくお願い致します。



#998 Z-REX ADVICS R8 TRACY

ST1

予選結果 2位

決勝結果 優勝

A:Dr XU Ling Xiao

B:Dr Zhang Zhi Qiang

C:Dr 廣田 築

D:Dr Ye Hong Li



当チームとしては初参戦になるクラスではありましたが、3月のテストから好感触ではありました。

ドライバーの面々は日本のコース不慣れながらも早々に対応する。大きなトラブルもなく各セッションを順調に消化し決勝に挑む。今回は全クラス混走になる上、クラス区分も増えなのでドライバーにとっては速さや安定性はもちろん別クラスとの走行の中でクリーンかつ安全にラップを重ねる技量が問われる。一度はリアタイヤバーストのトラブルがありながらもハイペースでの周回を重ね逆転に成功。なんとか逃げ切り初参戦初優勝を手にする事ができました。

#38 ADVICS muta racing RC350 TWS

ST3

予選結果 6位

決勝結果 2位

A:Dr 堀田 誠

B:Dr 坂口 良平

C:Dr 堤 優威



昨年度シリーズチャンピンを得た車両と体制に今年は堤選手が加わる。

3月の富士合同テストで好感触を得て鈴鹿に入る。

昨年度よりセットアップに大きな変更なく順調にメニューを消化しながら微調整を繰り返す。

昨年のデータと比較しても大きく劣る部分はないものの、ライバル勢の驚異的な進化に暗雲が漂う事に・・・

予選ではポジションを延ばす事が許されなかったが、

決勝は5時間のロングレース。序盤からFCY(フルコースイエロー)やSCなど荒れたレースが展開される中、ねばりの走りで2位まで追いつけた。悔しい内容の開幕戦となり課題を残すレースをなりました。

39 5ZIGEN ADVICS RC350 TWS TRACY

ST3

予選結果 7位

決勝結果 5位

A:Dr 下垣 和也

B:Dr 大井 貴之

C:Dr 近藤 説秀



昨年度より大きく体制に変更が加わりました。
下垣選手、近藤選手は昨年に引き続きステアリングを握り
大井選手が新たに加わる事になった。

ドライバー変更に伴いセット変更が繰り返されるも
なかなか良いポイントが見つからないまま予選を迎える。
結果は芳しくなく決勝に向けて再調整が行われる。

決勝では荒れたレースの中不運もありポジションを落す事もあったが
5時間地道なレースを展開し5位でのチェッカーとなった。
ベストではないものの決勝での方向性は悪くはなく、
繋げて2戦目に挑みたいと思います。

#5 5ZIGEN ADVICS SPV 86

ST4

予選結果 7位

決勝結果 規定集回数以下

A:Dr 山本 謙悟

B:Dr 鶴飼 龍太

C:Dr 三島 優輝

D:Dr 青合 正博



86(NZ6)の製作は数多くしてきたものの、
4クラスへの参戦は当チームとしては久しぶりとなる。
ドライバーラインナップはベテランから若手まで幅が広くなりました。

セットアップは今期スタートとなり冬の間から地道なデータ取りと
テストを繰り返し鈴鹿に入る。
少しずつ煮詰めながら車を作り上げていく。
予選ではライバルの瞬発力に圧倒されるも懸命に追従する。
決勝では中盤にミッションにトラブルを抱える事なりガレージイン。
懸命な修理を行いコースに戻したものの規定集回数に届かず
リアイア扱いとなり悔しい結果となった。

